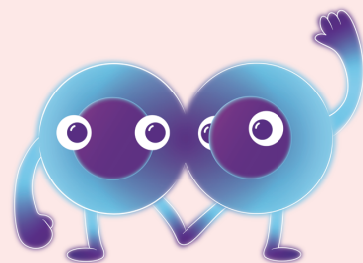


みんなでお考えの幹細胞研究

「生命の萌芽」の

これまでとこれから



幹細胞研究の中でも、受精胚を用いる研究は、人体の発生の過程や特定の病気の成り立ちを調べるうえで、大きく貢献してきました。

しかし、こうした研究では生殖補助医療で使用されなかった受精卵を用いて行われますが、母体で育てば人となりうる受精胚を壊す必要があるため、その研究利用については継続した議論が行われています。

今回、このような研究をこれからどのように進めていくことが大事であるかについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。



開催日時・場所

2023年3月25日(土) 14:00-17:00

国立京都国際会館 1F Room D

〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町422

https://www.icckyoto.or.jp/visitor/access/getting_here/

参加対象

どなたでもご参加いただけます

申込みフォーム ※事前登録制

<https://forms.office.com/r/vV5RPyNWWk>

申込締切：2023年3月24日(金)

URL・QR

<https://www.jsrm.jp/nc/ppi/report/>



プログラム

14:00-14:05 【開会挨拶】 八代嘉美(神奈川県立保健福祉大学/京都健康長寿医療センター/慶應義塾大学)

14:10-14:45 【基調講演】 神経再生治療とES細胞・iPS細胞(仮)

座長：武藤香織(東京大学医科学研究所)

演者：岡野栄之(慶應義塾大学)

14:45-14:50 休憩

14:50-15:30 【シンポジウム(前半)】 座長：高嶋佳代(京都大学iPS細胞研究所)

ヒト胚研究の現状と未来(仮) 阿久津英憲(国立成育医療研究センター)

ヒト胚研究をめぐる規制と倫理(仮) 加藤和人(大阪大学)

15:30-15:45 休憩

15:45-16:25 【シンポジウム(後半)】

ヒト胚研究への人々の思い(仮) 木矢幸孝(東京大学医科学研究所)

ヒト胚を提供しうる立場から(仮) 野曾原誉枝(NPO法人Fine)

16:25-16:55 【パネルディスカッション】

座長：八代嘉美(神奈川県立保健福祉大学/京都健康長寿医療センター/慶應義塾大学)

武藤香織(東京大学医科学研究所)

演者：阿久津英憲(国立成育医療研究センター)

加藤和人(大阪大学)

木矢幸孝(東京大学医科学研究所)

野曾原誉枝(NPO法人Fine)

高嶋佳代(京都大学iPS細胞研究所)

16:55-17:00 【閉会挨拶】 大会長：高橋淳(京都大学iPS細胞研究所)

本イベントは、日本医療研究開発機構(AMED)「再生医療実用化基盤整備促進事業」/再生医療実現拠点ネットワークプログラム(再生NWP)再生医療の実現化支援課題「再生医療研究とその成果の応用に関する倫理的課題の解決支援」/科学研究費補助金 基盤研究(B)サイエンスとサイエンスフィクションで探求する人間の生命の形により実施しています。

【主催】

一般社団法人日本再生医療学会



JSRM